

平成30年度 日韓高校生交流（派遣）事業 募集要項

1. 事業趣旨

日本と韓国で共同開催された2002年ワールドカップサッカー大会成功を契機とした「日韓共同未来プロジェクト」の一環として、日韓両国の青少年を通じて友好親善を一層深め、国際的な視野と資質を持った青少年の健全育成を図るための青少年交流を推進し、両国において、韓国語、日本語を第二外国語として勉強する高等学校生の相互交流を図ることを目的とする。

2. 実施関係機関

- (1) 主催 日本国：文部科学省
大韓民国：国立国際教育院
- (2) 実施 日本国：独立行政法人国立青少年教育振興機構
大韓民国：未定（調整中）
＜平成29年度：漢城大学（A日程）、ソウル神学大学（B日程）＞

3. 実施期間及び日程

平成30年9月6日（木）～9月11日（火）5泊6日〔羽田空港〕

※事前研修を含みます。

参考 平成29年度A日程実績

	第1日（日）	第2日（月）	第3日（火）	第4日（水）	第5日（木）	第6日（金）
午前		羽田空港発	国立国際教育院 歓迎式 昌福宮見学 韓服体験	高等学校 訪問	非武装地帯見学 平和公園等見学	金浦空港発 羽田空港着 事後研修会
午後	オリンピック記念 青少年総合センター 集合	金浦空港着	国立民族博物館 見学 北村韓屋村見学	Nソウルタワー 展望台見学	韓国舞踊体験 学習発表会 修了式	解団式
	事前研修会	講義				
						解散

4. 募集人員

第2外国語として韓国語を学ぶ日本の高校生56名

※4名の随行者（上記実施機関から選出）が同行します。

5. 応募資格

- (1) 第2外国語として韓国語を履修している高校生（原則として第2学年）であること。
- (2) 事前研修を含め、すべてのプログラムに参加できること。
- (3) 韓国の文化・言語に関心を持ち、韓国の高校生と積極的に交流を図る意思があること。
- (4) 今後の日韓関係の進展に役立ちたいという意欲を持っていること。
- (5) 協調性に富み、プログラムに従って規律ある団体行動ができること。
- (6) 本事業の参加について、保護者の同意が得られること。

※各都道府県・指定都市教育委員会は、参加者の選考において作文や面接を行うなど、上記の参加資格を満たす者であることを必ず御確認いただきますようお願いいたします。

- (7) 事業参加後に本研修で学んだことについて50名以上に発表を行うこと。またその発表内容に関してレポートで報告すること。

6. 提出方法

参加申込みをする高等学校は、参加希望生徒の申込書等（事業参加者推薦書、申込書）を取りまとめの上、所管する教育委員会等を通じて文部科学省に提出してください。

なお、各都道府県、指定都市教育委員会は、各高等学校が取りまとめた参加希望生徒の申込書等を文部科学省に提出してください。

7. 参加経費

(1) 自己負担額は50,000円程度とする。

航空券の価格等により金額は変更する可能性があります。

自宅の最寄駅から事前研修会場までの往復の交通費は実施機関が負担します。

※往復の交通費は事業終了後に実施機関から支払われます。

また、現地韓国での滞在費・交通費は、全額を韓国の実施機関が負担します。

(2) 下記の費用は参加生徒の自己負担とする。

①旅券取得費用

②その他、個人の責に帰する事由により生じた費用

8. スケジュール（以下は現在の予定であり、変更する可能性があります。）

6月1日（金） 「事業参加希望人数登録書」提出締め切り

（各都道府県、指定都市教育委員会→文部科学省）

6月上旬 参加者人数割当て決定通知

（文部科学省→各都道府県、指定都市教育委員会）

※男女の参加人数に大きな差がある場合には、男女の参加枠を調整させていただきます。

6月29日（金） 「事業参加者推薦書」及び「申込書」提出締め切り

（割当てのある各都道府県、指定都市教育委員会のみ→文部科学省）

7月上旬 参加者決定通知

（文部科学省→参加者登録のあった各都道府県、指定都市教育委員会のみ）

7月中旬以降 参加者等へ事務連絡

（上記実施機関→参加者、保護者）

※上記の「事務連絡」については、①事務手続等の案内、②しおり等の送付の2回程度を予定しております。

7月中旬以降 参加費振込（振込期日に関しては参加者にのみ、別途連絡いたします。）

※指定された期日までのお振込みがない場合は、参加取り消しとなります。

9. 問い合わせ先

文部科学省生涯学習政策局青少年教育課国際交流担当

後藤 晋一

Tel 03-6734-3487

Fax 03-6734-3795

E-mail : youth-kokusai@mext.go.jp